

広陵町地域公共交通利便増進計画(概要)

- 広陵町では、老年人口及び単身高齢化者世帯数の増加などに対応するため、公共交通の拡充及び連携が重要となるが、コミュニティバス「広陵元気号」は、路線が長大化し、1便当たりの運行時間が1.5時間程度と利用者ニーズとの乖離があり、住民アンケートでは9割以上が利用していない現状である。
- そこで、利便増進事業として中央幹線による町外アクセスの確保・維持、新たな公共交通として、自家用有償旅客運送による町内移動の利便性向上を図る再編を実施する。

事業の内容

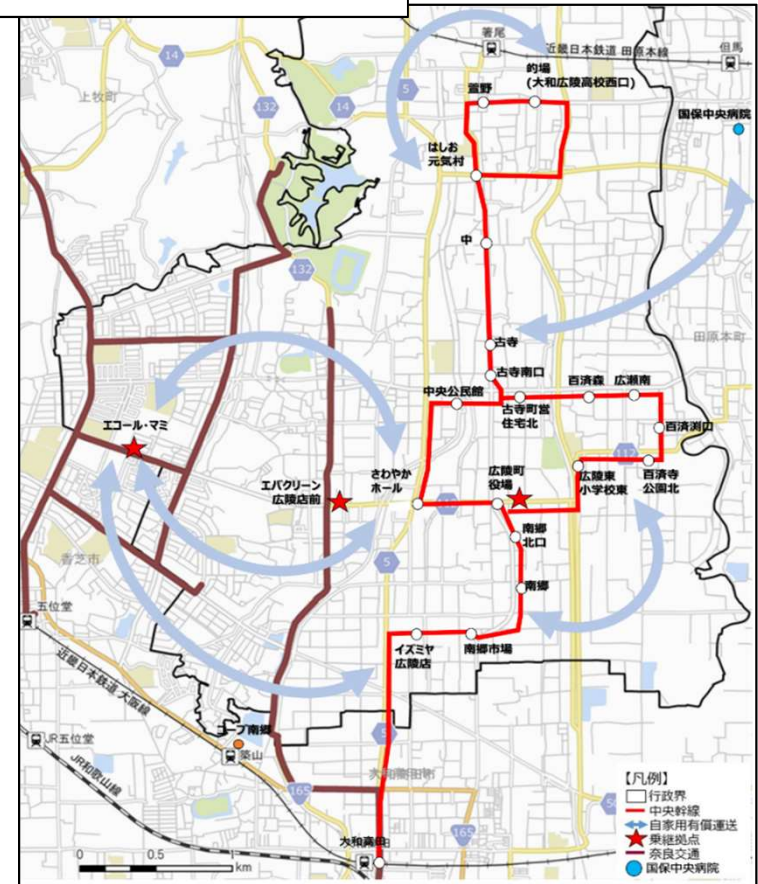
コミュニティバス「広陵元気号」の維持・改善を図りつつ、地域公共交通ネットワークの拡充を図るため下記の事業を実施。

- ① **広陵元気号北部・南部支線を自家用有償旅客運送に転換**
町内移動の充実を図るため、町内全域及び町外の商業施設・総合病院に設置した乗降場所間を運行する予約型の自家用有償運送に移行する。
- ② **中央幹線の運行ルート・ダイヤの見直し**
再編前の利用実態からルート・ダイヤを見直し、始発となる「近鉄大和高田駅」の発車時刻を0分台、5分台で設定した分かりやすいダイヤとする。
- ③ **広陵町版MaaSの構築**
AIによる配車及び運行経路構築等が可能な予約システムを構築するなど、デジタル技術等の活用により、町内の公共交通をシームレスに繋ぐことで、利用者の利便性向上や外出機会の創出を向上させる。

事業の効果

- ・自宅からバス停、乗降場所までの平均距離（直線距離：中央値）
令和4年：約250m→令和5年：約130m
- ・町内商業施設のアクセス回数
令和4年：11回→令和5年：20回
- ・平均待ち時間（近鉄高田駅行き）
令和4年：約94分→令和5年：約84分
- ・支払い方法の多様化
令和4年：4種類→令和8年：6種類

再編後の公共交通ネットワーク



- ・作成自治体 奈良県広陵町
- ・事業実施区域 広陵町全域
- ・事業実施予定期間 R5年11月～R9年3月（予定）